

提出年月日 5. 5. 25

受理年月日 5. 5. 25

請願第2

紹介議員 鈴木行雄

高野 要

鈴木康仁

「石岡市のおまつり・本道回帰」に関する請願
(文教厚生委員会所管にかかると部分)

請願趣旨

石岡のおまつりは、これまで「石岡のおまつり振興協議会」が取りまとめを行い、今日のような50万人以上の人々を引き付ける魅力ある形になってまいりました。また、おまつりに伴う補助金も市から交付され、円滑な運営を行ってまいりました。

私ども一同は、従前どおり「石岡のおまつり振興協議会」による、更なる魅力あるおまつりの発展を望み、併せて、文化財への高みを目指す新たな政策を打ち出されるよう、ここに請願いたします。

請願詳細

別添の「石岡市のおまつり・本道回帰への提言」のとおり

添付書類

提言への賛同書

石岡市のおまつり・本道回帰への提言

石岡のおまつりは、全町内、市全体に係る祭りであって、決して氏子会が仕切るかつての神社、15町内、年番町だけの祭りではなくなっているのは周知の事実です。

また、石岡のおまつりは、獅子舞パレードや山車パレードといった様に、多くの観光客に見せるお祭りとなり、本市の最大のイベントとなっています。

そして、石岡のおまつり振興協議会は、平成16年に設立されて以来、今日の様な形になるまで最大限の努力を重ねて、3日間で50万人以上の人々を引き付ける魅力にしてきたと、自他共に認められている石岡市の祭礼にたずさわる組織であります。

こういった体制が確立されていることが、石岡市にとっても政教分離の点でも問題なく祭礼にかかわる事が出来る大きな要因となっています。

そこで提言としまして、

(1) (産業建設委員会所管にかかる部分のため略)

(2) また、神事や文化財として、これらを保存し、茨城県指定無形文化財等の高みを目指すのであれば、新たに設置された祭礼行事保存会に無形文化財保護を目的とした補助金を出す事とも検討する。

との二項目を主軸とした、石岡市及び市長の新たな政策として打ち出すべきであろうと思われます。

この新たな政策を市長は、祭礼行事保存会及び石岡のおまつり振興協議会に進言し、理解を得て、両者が祭事、神事担当としての役割を明確にしながらも一方では力を合わせ、石岡のおまつりを更に素晴らしいものにしていく事が、今、求められている事です。

是非市長には、この方向での政策を明確に打ち出し、動いて頂く事をここに要望、提言致します。

【委員長報告要旨】

委員からは、「既に毎年度文化財補助の交付がされており、さらに常陸国祭礼については学術的調査も進んでいる。この請願に関わる提言については既に実施されていることから、特段取り上げる必要はないのではないか」などの意見が出されました。

【結果】

不採択